関西大学東京センター
関西大学技術交流セミナー2010

開催概要

関西大学は、知識の継承、深化、客観化を通じて社会との連携活動を進めています。関西大学技術交流セミナーは、関西大学の研究活動を広くみなさまに理解いただくため、理工系の研究者による関西大学一押しの研究の報告と意見交換をシリーズで開催しています。

「進化する触媒（化学、生体）」

日時：平成22年6月30日（水）
        13:45 ～ 18:00（開場：13:00）
場所：関西大学 東京センター（受付3階）
        東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9階
電話：03（3211）1670  FAX：03（3211）1671

プログラム

13:45 ～ 14:45
講演「金属触媒の超高度利用に基づく新規有機合成プロセス」
        大洞 康嗣（関西大学 化学生命工学科 准教授）
本講演では、超微粒子金属、低原子価数前期金属ならびに金属ヒドリド等の高活性触媒を用い、単純アルケン、低級アルコール、単純アミド、単純アミンに代表される単官能基フィードストックを原料にした高付加価値化に基づく効率的かつ実用的な化学物質の製造プロセスについて報告する。

15:00 ～ 16:00
講演「リガンドデザイン：新奇な金属錯体の開発と高効率不斉触媒反応」
        坂口 聡（関西大学 化学生命工学科 准教授）
生命・材料科学分野でキラル化合物の重要性が増しており、しばしば1対のエナンチオマーの双方が必要とされる。本講演では、アミノ酸から誘導したキラルなNHC配位子を開発し、Cu触媒不斉共役付加反応で同じ配位子を用いるCu触媒前躯体を変えるだけで、両エナンチオマー生成物をつくりわけることに成功した例を述べる。

16:00 ～ 17:00
講演「食品中のD-アミノ酸：定量的解析とその生産を担う生体触媒」
        老川 典夫（関西大学 化学生命工学科 教授）
D-アミノ酸は、これまで非天然型アミノ酸と考えられていたが、近年さまざまな重要な生理的機能を持つことが明らかとなってきている。本講演では、食品、とりわけ日本酒原料米と日本酒中のD-アミノ酸の定量的解析と、その生産を担う生体触媒について解説する。

17:10 ～ 18:00 名刺交換会（同センター内で行います）

レオロジー研究セミナー
©7月15日（木）13:00～
関西大学東京センターにおいて開催！
詳細は http://www.kansai-u.ac.jp/renkei/

主催：関西大学 社会連携部 産学官連携センター
後援：関西大学 先端科学技術推進機構、独立行政法人 科学技術振興機構
会場案内

JR東京駅
日本橋口に隣接

東京メトロ
東西線大手町駅直結

東京都千代田区丸の内1-7-12
サビアタワー9階
TEL: 03(3211)1670
(9:00〜17:00の間)

＜入館方法＞
1. サビアタワー3階のオフィスロビー総合受付もしくはセミナー特設受付にお越しください。
2. 受付で参加証をご提示頂き、関西大学技術交流セミナー参加をお伝えください。
3. 受付が確認の上、「ゲストカード」を発行いたします。
4. 「ゲストカード」を使って、ゲートを通じ入館してください。

＜退館方法＞
1. 3階のオフィスロビーから退館してください。
2. 「ゲストカード」はゲート横に設置してあるカード入れに返却してください。

関西大学 社会連携部 産学官連携センター
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL: 06(6368)1245 FAX: 06(6368)1247
E-Mail: syakai.renkei@ml.kandai.jp

FAX送信票
Fax: 06-6368-1247

関西大学 社会連携部 産学官連携センター 行
関西大学東京センター 技術交流セミナー2010 申込書

<table>
<thead>
<tr>
<th>会社・所属 （役職名）</th>
<th>(ふりがな) 氏 名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ご住所</td>
<td>〒 -</td>
</tr>
<tr>
<td>電話番号</td>
<td>( ) E-Mail @</td>
</tr>
</tbody>
</table>

本セミナーは建物への入館の関係上、参加証を発行いたします。開催の7日前頃に発送いたします。

■個人情報の取り扱いについて
ご提供頂きました個人情報は、本技術交流セミナー開催に際しての管理・連絡のために使用するとともに、関西大学 先端科学技術推進機構からのお知らせに使用させていただきます。